

かわさき水ビジネスネットワーク2021年度総会を開催しました

かわさき水ビジネスネットワーク(かわBizネット)は、2021年7月2日(金)に川崎商工会議所会議室で「かわさき水ビジネスネットワーク2021年度総会」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルスの影響を踏まえて、かわBizネット総会としては初の試みとなるオンライン併用の開催形式としました。小泉会長(東京都立大学都市環境学部特任教授)、福田特別顧問(川崎市市長)、草壁特別顧問(川崎商工会議所会頭)のほか、46会員、9協力団体・オブザーバーの計83名(うちオンライン35名)が参加しました。

総会では、まず事務局より、「2020年度の活動実績」と「2015-2019年度の活動レビュー結果」の報告を行った後、「2021年度の活動計画」として、①案件化に向けた取組②海外での活動(川崎市)③会員への情報提供・海外への情報発信の取組を進めていくことを会員間で確認しました。

その後、プレゼンテーションとして、昨年末まで長期専門家としてラオスに赴任していた川崎市上下水道局水道計画課升瀧課長補佐より、JICA技術協カプロジェクト(MaWaSU2)の紹介やラオスの概況などの講演のほか、ラオス水道行政のトップである公共事業運輸省ソポン水道局長より、かわBizネット会員の皆様に向けたビデオメッセージの放映を行いました。また、オンライン併用開催ということを活用し、現在、升瀧の後任として赴任中の野澤長期専門家とも中継をつなぎ、コロナ禍におけるラオスの現状や水ビジネスの可能性について報告がありました。

今後かわBizネットは、官民が連携するプラットフォームとしての機能を活かしながら、引き続き水ビジネスの実現を通じた世界の水環境改善に取り組んでまいります。



小泉会長(東京都立大学都市環境学部特任教授)による挨拶



会場の様子



川崎市上下水道局水道計画課 升瀧課長補佐
による講演「ラオスでの技術協力【JICA MaWaSU2】」



(ラオスに赴任中の)野澤長期専門家との中継